徳島県原水協
493/2010・9・15 〒770-0027
徳島市佐古七番町８-13
TEL/FAX088-652-5826
（振替 01620-9-74332）

原水爆禁止２０１０年世界大会
徳島県代表団報告集会・十一日
新たなステップ・三課題話合う

十一日午後一時から、徳島市文化センター２Ｆ会議室での報告会に二四人が参加しました。

“「核兵器のない世界」へ行動を・原水爆禁止２０１０年世界大会徳島県代表団報告集”が配布され、順次、感動を語りました。

一部を紹介します。

核兵器は廃絶できる勇気出た　乾　琢也

青年交流集会で、平和運動が身近に感じ、友だちに勇気をもって話し、励ましのメールを貰った発言に学びました。

核兵器を持っていた南アフリカが廃棄したように、核兵器はなくせると確信しました。

小中高生と一緒に行動学びあう、真田　明

被爆者の話や原爆ドーム、資料館など一緒に見聞きして考えました。

自分一人では難しくても、共同して被爆体験など聞き伝えることが、平和な社会への一歩だと思いました。

遺骨のある似島　心に残り　渡辺春美

似島でガイドの先生が「ここにまだたくさんの方が眠っている」とのお話、心に残りました。

子供５人連れ、嬉しい人の輪　渡辺朋子

中２・小３・５歳・３歳連れて参加。楠藤優太君（小５）にも助けられ、人の輪を実感しました。疲れを押して「女性つどい」に参加、アフガニスタンと沖縄の発言は印象的でした。

きたがわてつさんの「ヒロシマのある国」にうっとり・・・。

墓が同じ日、黒い雨学ぶ　美馬準一

黒い雨、墓が同じ日、一時ヒロシマ出身と言えなかったという被爆者の声に、涙しました。

原爆投下国は謝るべきものです。核兵器のない世界を求めます。

写真は文化センターでの報告風景。県代表団事務局を務めた伊藤功徳島民商事務局長が司会・進行。「報告集」には心をこめた報告・感想文が掲載されています。

志位委員長のあいさつに誇り　古田元則

２００６年・０８年に続いて３回目の広島。

この間の核兵器廃絶運動の大きな発展を痛感。パン・キブン国連事務総長や日本共産党志位委員長の挨拶で、草の根の運動の威力を実感し誇りに思いました。

米軍基地と市民の平和の思い　古田美知代

核廃絶の流れの裏側で、広島・呉・岩国港の軍港化、２機同時にタッチアンドゴーの轟音に住民の怒り。

広島球場ではピースナーターで市民の思いが示されていました。

新たな署名運動に取り組む　米沢正博

秋葉市長などの呼びかけに応え、ＮＰＴの報告もしながら新署名にとり組みます。

過去を想像し未来を創造　伊藤　功

似島は加害と被害の両面を持ち、残っているものから過去を想像する力と、未来を創造する力の大切さを感じました。

新たなステップに向けて　神野美昭

９月からの国連総会に署名を提出しましょう

非核の政府を求め、被爆者に学び運動を広げましょう。

閉会挨拶　武器なき世界を　中内輝彦